

- 11・2 消費税「2010年代中ごろ10%—与謝野馨経済担当相（NHK討論番組）「段階的にお願いして（2010年代）中ごろには10%に届いてないと財政はパンクする」（11・3M）
- ⇒11・4 政府・社会保障国民会議（吉川洋東大教授）、最終報告
- 社会保障機能強化を必要とし、そのために、消費税換算で2015年度に3.3～11%、2025年に6～13%程度の財源必要（11・5Y）
- 11・5H「政府『消費税増が必要』、社会保障を口実—15年には33～11%アップ—国民会議最終報告

世界不況の広がり と 田母神空幕長問題と

- 11・3 世界不況—A「欧州自動車減産相次ぐ—従業員反発工場封鎖も」「午後3時『全員解雇します』—金融危機、わが身にも—職場、勢い良かったが—37歳、又就職先探し」
- 11・4Y「ユーロ圏、マイナス成長も—東欧減速・景況感も大幅悪化」／N「7～9月成長ゼロ%前後、実質GDP民間予測—投資・消費振るわず、一段の下ぶれに警戒感」
- 11・4Nタ「新車販売—米、25年ぶり低水準—10月31%減、金融危機直撃—GM45%減」「トヨタ23%減—08年見通し、下方修正」
- 11・6トヨタ、09・3期「73%減益予想」（11・7A）
- 11・7N「トヨタ、営業益7割減—今期、1兆円下方修正—自動車7社、2.8兆円減益」「欧州、一斉利下げ—日米欧マイナス成長に、IMF来年予測—戦後初、新興国も鈍化—欧州中銀0.5%下げ、英、異例の1.5%」「（社）トヨタ1兆円減益の衝撃」「トヨタ大幅減益、円高6900億円吹き飛ば—世界販売8%減、6100億円減益要因」
- 11・7H「大企業が『派遣切り』、酷使して大もうけなのに—マツダ・日産・キャノン…各地で強行、トヨタは5800人計画」
- 11・9H「派遣使い回し、トヨタ車中止—クーリング、志位質問受け」

11・3

田母神前空幕僚長「定年」退職—A「空自誌でも『侵略ウソ』、前幕僚長—昨年、問題視されず」—67・5月号「鵬友」の巻頭で「日本人としての誇りを持つ」と題し「戦後教育の中で我が国の歴史と伝統はひどい無実の罪を着せられてきた。その代表的なものが、日本は朝鮮半島や中国を侵略し残虐の限りを尽くしたというものである」「ウソ、捏造の類であると証明されているが、多くの日本国民はそれを事実として刷り込まれている観がある」
「(南京大虐殺について) 日本軍が中国の民間人を組織的に虐殺したことは全く無かったのである」

→11・6 田母神俊雄前航空幕僚長の参考招致決定 (参院外交防衛委) —6・11 参考人招致 (11・7N)

→11・7A「懸賞応募集中の小松基地—同じ課題で論文指導、幹部隊員に」
「田母神前空幕長、処分なら争う姿勢—衝突避けた防衛省、短期決着を優先」
「政治の怠慢、文民統制の危機」「幕僚長同意人事に」、「法改正案民主検討」
「どうのこうの言う立場に無い」—首相「退職金返納を」—公明・北側幹事長」／M「アパ懸賞論文—自衛官 78 人応募—全国の部隊に、空幕教育課が紹介」

→11・7M(社)「前空幕長問題—政府の責任を明らかにせよ」

→11・9H「田母神前空幕長問題—『言論のクーデター』根本に何が—歴史認識・憲法解釈、政府見解覆す—懲戒手続きなし、自衛隊の体質を示す—任命は安倍内閣、歴代自公政権の責任」「制服組の政治関与—自公政権が推進」

→M「危険人物」「不安現実」「前空幕長、『300 万円取ったんです』—胸張り、論文配り歩く」

11・4

Y (世論調査) 11・1~3 電話世論調査

①麻生内閣—支持率 40.5%、不支持 41.9%、DK17.5%

②麻生首相の金融危機への対応優先し総選挙先送り—大いに・多少は評価 56.2%、あまり・全く評価しない 32.6%、DK11.2%

③次の望ましい政権—自民中心 18.8%、民主中心 20.3%、自民、民主の大連立 26.5%、再編による新しい枠組み 25.1%

- 11・4 労働者派遣法改正案—閣議決定、国会提出—30日以内の労働者派遣を原則禁止、登録型派遣、マージン上限規制、均等待遇など見送り／脇田滋・龍谷大教授「世界最低の労働者保護の法律と言う本質的な課題は残り続けている」—登録型派遣は約320万人の派遣労働者の7割、うち日雇派遣は1万人程度（08・7時点）（11・5A, T, H）

米大統領選—オバマ氏の圧勝と歴史的転機

- 11・4 米大統領選挙始まる
→11・5M『『期日前』空前の3割—『民主支持』優勢に—最終投票率60%超か』「オバマ氏応援一色に—父方故郷のケニア」
- 11・5 オバマ氏圧勝、議会両院とも民主制す—勝利宣言
<結果>（11・6各紙朝刊、11・8A夕）
- ①投票率（11・8A夕）
60.7～61.7%（アメリカン大学米国選挙区研究センター試算）
少なくとも61.5%（ジョージ・メイソン大マクドナルド準教授試算）
- ②得票率 オバマ52% マケイン46%
- ③獲得代議員（全538人） ミズリー州分11人未確定（11・7現在）
オバマ 364（28州とワシントン）
マケイン 163（21州）
- ④議会
- 上院（定員100、改選35） 未確定4（11・5現在）
民主 57（非改選39） 前議席51
共和 40（同26） 同 49
 - 下院（定員435、全員改選） 未確定8（11・5現在）
民主 254（前議席235）
共和 173（同 199）

＜オバマ氏の勝利演説＞（11・6A—要旨）

もし、建国者の夢が現代にもまだ生きているのか疑問に思ったり、米国の民主主義の力を疑ったりする人がいたら、こう言いたい。今夜が答えだと。

若者と高齢者、富める者と貧しい者、民主党員と共和党員、黒人と白人、ヒスパニック、アジア系、アメリカ先住民、同性愛者とそうでない人が出した答えだ。この国が寄せ集めでなく、合衆国だというメッセージを世界に伝えた。

長い時間がかかった。今夜この決定的な瞬間、米国に変革が到来したのだ。

この勝利はあなたたちのものだ。何百万人ものボランティアは「人民の人民による人民のための政治」は 200 年以上たっても滅びていないと証明した。

明日から向き合う難題は我々の時代で最大級だ。（イラクとアフガニスタンの）二つの戦争、危機に直面した地球、今世紀最悪の金融危…。道のりは長く、険しい。1年、あるいは1期の間には達成できないかもしれない。だが、私は今夜ほど達成できるという希望に満ちたことはない。私は常にあなたたちに誠実でいる。国家の再建に加わってもらいたい。…リンカーンは、我々以上に分裂していた国民に対し、「我々は敵でなく友人なのだ」と語った。感情は高まっているかもしれないが、愛情によるつながりを断つてはいけない。

私に投票してくれなかった国民の声にも耳を傾けるつもりだ。今夜米大陸以外の議会や王宮から見守っている人びとと、忘れられた世界の片隅でラジオを聞いている人々に対して言いたい。米国の歴史は特異だが、我々の行き先は共有できる。米国の新政権の夜明けが近づいている、と。この世界を破壊しようとする者たちを、我々は打ち負かす。そして、平和と安全を求める人々を我々は支援する。

今回の選挙で初めて起きた多くのことが、数世代にわたって語り継がれるだろう。

繁栄を取り戻し、平和を推進しよう。アメリカン・ドームを再生し、我々

は一つであるという真実を再確認しよう。「出来やしない」と言う人に出会ったら、「我々是可以する」と答えてやろう。(アサヒ・コムに演説全文)

＜マケイン氏の敗北演説＞

オバマ氏は、今まで自分たちの影響力などほとんどないと思っていた数百万の人たちに希望を与えることで、この選挙戦に勝った。歴史的な選挙であり、アフリカ系米国人には特別の重みがあることを私は認識している。

オバマ氏と私の間には違いがあり、彼が勝った。その違いがなお残るのは間違いないことだ。しかし、我々の国にとって困難な時であり、彼が多くの挑戦をくぐりぬけて我々を引っ張っていくのを助けるために、私は持てる力の限りのことをすることを誓う。

私を支持してくれた全ての米国人に呼びかける。我々が和解し、必要な妥協点を見だし、我々の子孫によりよい国を引き継げるよう、次期大統領のために真剣に努力して欲しい…。

黒人のライス、パウエル氏らの興奮と期待

11・5 オバマ氏当選へのライス、パウエル氏らの反応

—**ライス米務長官** (ワシントン)、定例記者会見に急ぎよ参加し「(オバマ氏当選) アフリカ系米国人として特に誇りに感じる」「前夜の驚くべき選挙について一言述べずにいられなかった」「この日は、人種問題を日常に定着させぬよう、取り組みを続けてきた」「昨夜、目覚しい前進を遂げたのは明らかだ」(11・6Y夕)

—**パウエル前米務長官** (香港で記者会見)「(オバマ氏に) おめでとうと言いたい。有能な彼は、たまたま黒人だったというだけ。選挙戦では黒人、白人、中南米系すべてと対話し、取り組んだ」(同)

—**アナン前国連事務総長** (ジュネーブ)「(オバマ氏当選) 私の人生で想像だにできなかった出来事」「自らを再生し、変化する世界に適応できる米国の非凡な可能性を見せた」(11・6M夕)

11・5 オバマ氏当選へのマスコミの反応

→Aタ「オバマ氏当選、米大統領選—初のアフリカ系、8年ぶり民主政権—
ハワイ・インドネシア育ち 47歳」「両院も民主が過半数」「『経済』オバマ氏
後押し—金融危機、関心高める—マケイン氏、疎さ露呈」「投票所、早朝か
ら行列」「立法、行政ともに手中—民主、党内調整に苦労も」「アフリカ系下
院議員 9%—貧困・失業は未解決」「チェンジの時沸騰—オバマ氏地元の数
万人」「『変化が必要だ』—在日米国人も思い託し一票」

→Mタ「国際協調路線へ転換—対『テロ戦』試金石、内政では福祉重視」「投
票待ち 4時間も—激戦州、有権者が長蛇の列」「人種超え『変革』選択、オ
バマ氏勝利確実—金融危機、追い風—『ブッシュの 8年』に決別」「69%経
済重視—出口調査」「劣勢に肩落とす—マケイン氏地元支持者」「議会選もオ
バマ効果、民主順調—共和、現職引退響く」「初の黒人大統領へ—『記念す
べき日に』、変革の時心待ち—オバマ氏、地元シカゴ興奮」「模擬選挙に 900
人が参加—在日米大使館」

11・6 「オバマ氏が勝利宣言『変革の時がきた』」—米大統領選、27州と首都制す

「オバマ流合衆国包む—党派や人種…統合を強調—ネットで草の根、空前の
若者動員—経済重視、民意つかむ」「米再生転換点—『大きな政府』選択へ、
財政赤字拡大の恐れ」「外交—イラク撤退、多難の道—北朝鮮との対話継続」
「日米関係いばら道—日本、対テロ政策で溝懸念—オバマ政権、同盟強化は
継続」「新生米国、世界待望—『バイバイ、ブッシュ』、オバマ氏支持者歓喜—
新たな協力関係期待、欧州・中東・キューバー・アジア・中国『対話強め
たい』」「父方の故郷 200人祝う、ケニア」「オバマ次期政権—危機脱出、雇
用創出から—公共事業で『200万人実現』、自動車業界救済にも本腰」「日本
『チェンジを』—米の消費回復して、核廃絶も現実、拉致解決へ制裁はそ
のまま、温暖化対策世界で前進」「オバマさんを見た—800円サンド好物、
声は伝道師」

→11・6M「変化の期待—身に、米大統領にオバマ氏『多難な対話路線』、『強
い米国』との相克課題—試される日米同盟、対テロ戦新たな支援要請も」「温

暖化対策も転換に期待感」「草の根から頂点へ—白人票分け合う、人種問題根は深く」「金融危機収束に全力—圧勝の追い風、実効策が課題に」「米大統領にオバマ氏—民主『政権交代へ追い風』—与党の一部『解散できない』」

「上下両院とも民主圧勝、米大統領選—過半数に上澄み、政権の安定運営可能に—共和党、立て直し急務」「保護主義に傾斜も、オバマ氏通商政策—ビッグ3支援意欲—日本メーカー、警戒の声」「『我々は変わる』、米大統領にオバマ氏—イエス・ウイ・キャン、シカゴ—勝利演説に12万人」—「生き続ける夢—お祭り騒ぎ…フラダンス、シラス井200円引き」

→11・6Y「**変革、試練の道**—金融危機、対テロ—対応急務」「人種の壁克服、国民の意識変化—黒人運動家、想像できなかった」「戦時の『最高指令官』、『対テロ』渦中の交代—パキスタン・イラク、迫られる決断」「各国の反応—中国『協力関係強化を』—インドネシアの同級生ら祝福—露、関係修復期待」「**共和、歴史的な大敗、米大統領選—『保守の時代』終えん**—獲得選挙人、民主の半分以下」「**マケイン氏、敗北宣言—『私は彼に喝采を送る』**」「**投票率上昇64.1%**—オバマ氏、ネットで若者動員」「若者、黒人オバマ支持—米TV各社出口調査—『反ブッシュ』マケイン氏直撃」「最高裁『リベラル化』も—米議会選、民主大幅に躍進」「『市場万能』修正か、米大統領オバマ氏—財政赤字、拡大懸念も—対日通商政策、現状維持?」「危機克服へ手腕期待—経済界」

→11・6N「**米、景気浮揚急務に、大統領オバマ氏—危機対策は—財政出動も視野、脱ブッシュ政権鮮明—自由貿易は、FTA見直しも—為替政策は、『強いドル』路線継承か修正か**」「**外交、国際協調に転換—同盟強化に課題多く**—米側、成果に期待も—対北朝鮮、対話軸に—イラク早期撤収、アフガン増派へ」「オバマ氏幅広い層が支持—女性56%、ヒスパニック66%—白人の若者も過半、出口調査」「ネットで献金集め、草の根組織生かす—オバマ氏、型破り戦術奏功」「米国社会成熟初の黒人大統領、移民急増が背景に」

→11・6T「『対話』**米復権のカギ、大統領にオバマ氏—ブッシュ流力の外交と一線、国際社会変化に注目**」「議会掌握、国内は磐石—民主、上下院を制

す—16年ぶりの安定政権』『脱・小さな政府』で再生—中間層を下支え、
ポスト『市場万能』模索へ」

→11・6H「『変化』願った国民、米大統領にオバマ氏—12万5千人集う、
地元シカゴ」「イラク・アフガン・景気—世界の信頼、回復したい／経済の
方向、転換求める／黒人大統領、夢のようだ」「戦争からの脱却を期待、外
交—孤立した米、再生の道は」「歴史をつくった人民の力—差別を乗り越え
た黒人大統領誕生」

→11・7A「キング牧師の夢がいま—多民族国家アメリカルポ」「人種の壁越
える若者、『差別なんて経験してない』—変化に揺らぐ白人社会、米世論調
査『偏見ある』3割—民主主義の実験は続く、黒人政治家ら『まだ始まり』」
「祝祭の輪、冷める主人公—政権運営、見えぬ変革のコスト」

11・6 オバマ氏当選と各紙社説・論評

- ①A「米国刷新への熱い期待—オバマ氏当選」／アメリカ総局長・加藤洋—
「米国民、現状拒否を選択」→11・7A(社)「オバマ時代—日本外交の刷新
の時だ」
- ②M「オバマ氏当選—米国のチェンジに期待する、対立超え大胆な再生構想」
／北米総局長「『ブッシュ路線』の敗北」
- ③Y「オバマ氏圧勝—米国の威信は回復できるか」
- ④N「歴史的な経済危機に挑むオバマ大統領」
- ⑤T「アメリカの歴史的選択—次期大統領にオバマ氏」／アメリカ総局長・
立尾良一「危機脱却待ったなし」
- ⑥サ「オバマ氏圧勝—信頼と指導力の回復を、経済危機克服に大勢整えよ」
／ワシントン駐在編集特別委員・古森佳久「身すくむほど未知の人物—米
大統領選に寄せて」
- ⑦H「オバマ候補当選—変革の期待に応えることこそ」

防衛汚職—前次官に実刑判決

11・5 **防衛汚職—前次官に実刑—東京地裁**（植村稔裁判長）、防衛装備品の調達を巡る汚職事件で収賄と議員証言法違反（偽証）に問われた守屋武昌・前防衛次官（64）に懲役2年6月、追徴金約1250万円の実刑判決、贈賄側の防衛専門商社「山田洋行」元専務・宮崎元伸被告（70）を懲役2年の実刑判決、贈賄側の他の2人に対し執行猶予付き判決／**守屋被告の犯罪事実—**①03・8～07・4に現金計約364万円、②12回のゴルフ旅行（約389万円分）、③108回の日帰りゴルフ接待（約497万円分）、④07・10～11国会証人喚問でゴルフ代不払いを「1万円ずつ支払っていた」と嘘の証言（11・5各紙夕刊）
→Yタ『影の防衛相』断罪、守屋前次官実刑—判決に身動きせず—模範示すべき立場で癒着／Tタ「防衛省ドン面影なく、守屋次官一身じろぎもせず、後輩職員『やっぱり』」

→11・7 社説

- ①A 「防衛次官の犯罪—組織再生の道はなお遠し」
- ②M 「守屋被告実刑」—『次官の犯罪』で終わらせるな」
- ③Y 「前防衛次官実刑—『背信行為』の再発を防げ」
- ④T 「守屋前次官実刑—防衛省体質の再点検を」

11・7 **痴漢不起訴損害賠償訴訟敗訴判決破棄差戻し—最高裁第二小法廷**（津野修裁判長＝退官）、99・9・2JR中央線内で当時20代の女性の身体に下半身を押しつけたとして東京都迷惑防止条例違反現行犯で逮捕された沖田光男氏（66）が不起訴となった後、女性に対し損害賠償訴訟を提起、1、2審とも敗訴判決で上告（11・8T）

11・7 **警察の捜査怠慢死亡国賠訴訟判決—東京地裁**（生野孝司裁判長）、04・1東京都足立区で小出亜紀子さん（当時24）が監禁、暴行された事件で多摩中央署の捜査怠慢のため死亡した事件で両親の訴えに2000万円の損害賠償を東京都に命ずる判決（11・8A）

→11・8Y 「足立区の監禁殺害、女性死亡は『捜査怠慢』—地裁判決『被害

者、救出できた』、2000万円賠償命令—娘のSOS警察見逃した、両親会見
→11・11T(社)「捜査ミス認定—警察は怠慢を猛省せよ」

11・7 **犯罪白書08年版**(法務省公表)—**65歳以上の犯罪最多**／07年に検挙された高齢者は4万8605人、対前年比4%増、統計とり始めた86年以降最多(88年に9888人)、検挙者全体のウエイト13%(88年2%)／内訳—窃盗3万1573人(万引き2万5854人)、横領1万672人(11・7Y夕)

→11・7A夕「**高齢者犯罪、増え続ける**—万引きや泥棒、背景に生活苦—08年白書」
「孤独…刑務所に寝床求め…福祉、頼り方分からず」

11・7 **和牛商法6人逮捕**—警視庁、「ふるさと農場」社長・相田勇次容疑者(78)ら同社幹部6人を詐欺で逮捕／全国の約1万4000人から約387億円を詐取、和牛商法の被害額としては過去最悪(11・7各紙夕刊)

→11・8M「**和牛商法逮捕**、02年から飼育ゼロ—近くの牧場見せ『見学ツアー』、詐取重ね自転車操業」

11・7 **米失業率6.5%と悪化**—米労働省、10月の雇用統計発表—9月の6.1%から0.4%悪化。94・3(6.5%)以来14年7ヵ月ぶりの高い水準(11・8M)

→11・8N「**GM2400億円最終赤字**—7～9月、フォードは125億円」
「**上場企業、今期26%減益**—製造業、円高・海外不振で失速—989社見通し本社集計—下期は減収も」
「パナソニック、三洋買収方針—電機大手の集約始動、世界経済減速の荒波—国内の過当競争、限界に」

⇒11・9 **G20の財務相、中央銀行総裁会議**(サンパウロ)—**声明**—国際通貨基金(IMF)や世界銀行での新興国重視を柱とする内容—「ずさんなリスク管理、一貫性に欠けるマクロ経済政策、先進国における不十分な金融規制・監督の結果」と明言(11・10A夕)

⇒11・9 **中国政府、緊急対策に57兆円**—公共事業や金融緩和

→11・10M夕「**AI G支援14.9兆円**に—米政府、4兆円資金投入へ」